

大石田雛人形展

江戸時代、最上川舟運最大の中継地となった大石田河岸。ここには、広範囲から大量の紅花が集められ、最上川を下って酒田へ、さらに海路大坂や京都、江戸へ運ばれました。一方、上方や江戸からは、当時最先端の文化や芸術がもたらされます。それら流行の文物の中には、絢爛豪華な雛飾りがありました。

大石田には、昔から「お雛見」という風習があります。月おくれの4月3日、旧家では代々伝わる雛人形を飾り、ご近所や子どもたちがそのお雛様を見てまわります。「お雛様見せでけらっしゃいっす〜」とか「お雛さん見でってけらっしゃい」などとあいさつを交わしながら、雪深い大石田の冬の終わりと、待ちわびた遅い春の訪れを喜びあったのです。本企画展では、町内に古くから伝わる雛人形をはじめ、古典人形や土人形などもあわせて展示いたします。



◀ 永尾家古今雛



▲ 太田家享保雛

🎎 入館料

大人・・・**200**円 (160円)

高大生・・・**150**円 (120円)

小中生・・・**100**円 (80円)

※()内は20名以上の団体料金

🎎 無料入館日のお知らせ

4月2日(木)、3日(金)は、大石田ひなまつり開催期間につき、どなたでも無料で入館できます。

※町内の小・中学生は常時無料



◀ 庄司家古今雛



▶ 佐藤家古今雛

🎎 大石田ひなまつり

会場：大石田町本町通り他

日時：令和2年4月2日(木)、3日(金) 午前10時～午後4時

お問合せ：大石田ひなまつり実行委員会 0237-35-2111 (大石田町観光協会)

🎎 抹茶席のご案内

大石田ひなまつり期間中、資料館内“聴禽書屋”※に抹茶席を設えます。趣のある空間で、春ののどかなひと時をお過ごしください。(一席300円、菓子付)

※【ちょうきんしょおく】歌人齋藤茂吉が昭和21年から22年にかけて暮らした建物。歌集『白き山』を彩る多くの秀歌がここで生まれました。

※表 二藤部家享保雛
江戸時代後期 京都製

大石田町立歴史民俗資料館

山形県北村山郡大石田町大字大石田乙37番地6
TEL / FAX 0237-35-3440

